

2. KKR 高松病院の特徴

①救急医療の重視

香川県東部医療圏の2次救急輪番病院の1つであり、24時間対応で可能な限り救急患者を受け入れている。急病などのいわゆる内科系救急患者において2023年度は年間1615台の救急車を受け入れている。（香川県東部医療圏内で搬送数6番目）

②退院後の訪問診療の実施

院内に訪問看護センターを設けており、当院を退院した患者のケアを継続して行っている。自身が担当し退院した患者の自宅での療養の実際を確認することを通じて地域での実際の医療を経験することができる。

すなわち、スパイラル型研修により救急患者は初期対応から退院まで診療を継続したうえで、退院後の療養環境・治療状況についても自身で確認・把握することが可能である。この点は大規模病院とは異なる当院の特色の一つである。

③チームで行う医療の充実

当院ではコメディカルが、入院時から退院後の療養・治療環境の調整に至るまで診療に積極的に関与・サポートしており、チームで行う医療の実際を経験することができる。また、病院全体として研修をサポートする雰囲気がある。

④初期研修医受け入れ20年間の実績

香川大学と岡山大学の協力型病院として内科・地域医療の初期臨床研修を行っている。2023年度までの過去20年間で143名の研修医の指導実績がある

⑤国家公務員共済組合連合会（KKR）のグループ病院としての機能

国家公務員共済組合連合会（KKR）のグループ病院は虎の門病院を筆頭に全国に32病院があり、四国では当院が唯一のKKRグループ病院である。グループ内には種々の共用リソースが準備されている。虎の門病院にある連合会中央図書室（文献の検索・ダウンロード・取り寄せ等）の機能は24時間利用できる。また、初期研修医を対象としたWebレクチャー（虎の門レクチャー）が定期的に行われ（1ヵ月に2回程度）されており当院で受講が可能である。グループ内での国内交換留学制度も設けられている。